

# 資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて キャリア教育において育成すべき資質・能力の整理

平成28年3月10日  
教育課程部会  
特別活動ワーキンググループ  
資料5

学校教育全体を通じて行われる教育

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進んでよりよい人間関係を築く力など、他者の考えや個性を知り、相手の意見を聴いて自分の考えを伝えるための知識・技能</li> <li>● 自分らしさの理解など、自身のよさを知り、自分らしい言葉や行動を選ぶための知識・技能</li> <li>● 必要な情報を探し、選ぶ力など、役割を果たすために課題を発見・解決するための知識・技能</li> <li>● 学ぶこと・働くことの大切さの理解、様々な生き方の理解など、自らが果たすべき役割との関連を踏まえて「働くこと」の意義を理解するための知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チームワーク、リーダーシップなど、自他のよさや個性を理解し、他者と協力・協働して社会に参加する力</li> <li>● 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ主体的に行動する力</li> <li>● 必要な情報を整理する力、ものごとを計画的に進める力など、課題を発見し、計画を立て、解決することができる力</li> <li>● 夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得など、主体的に将来の自分を思い描き、自らキャリアを形成していく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学級や学校の生活づくりに進んで参加しようとする態度</li> <li>● 自分のすべきこと、よいと思うことを考え、取り組もうとする態度</li> <li>● 計画・実行・評価・改善など、失敗を恐れずに最後までやり通そうとする態度</li> <li>● 自分にふさわしい生き方を主体的に考えようとする態度</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーション・スキルなど、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えるための知識・技能</li> <li>● 自己の肯定的理解、ストレスマネジメントなど、今後の自分自身の可能性を含めて肯定的に自己の役割を理解し、自らの思考や感情を律するための知識・技能</li> <li>● 情報の理解・選択、本質の理解、原因の追究など、仕事をする上での様々な課題を発見・分析するための知識・技能</li> <li>● 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、生き方の多様性の理解・受容など、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」の意義を理解するための知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チームワーク、リーダーシップなど、自分の置かれている状況を理解し、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参加する力</li> <li>● 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ主体的に行動する力</li> <li>● 情報の処理、計画立案、実行力など、課題を発見し、計画を立て、解決することができる力</li> <li>● 将来に関わる暫定的な計画の立案など、生き方に関する様々な情報を適切に処理しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会に積極的に参加しようとする態度</li> <li>● 意欲、主体性、忍耐力など、前向きに考え今後の成長のために進んで学ぼうとする態度</li> <li>● 計画・実行・評価・改善など、粘り強く物事を前に進めていこうとする態度</li> <li>● 主体的に判断して自らキャリアを思い描こうとする態度</li> </ul>
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーション・スキルなど、多様な他者の考えや立場を受容し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えるための知識・技能</li> <li>● 自己の肯定的理解、ストレスマネジメントなど、今後の自分自身の可能性を含めて肯定的に自己の役割を理解し、自らの思考や感情を律するための知識・技能</li> <li>● 多様な情報の理解・選択、本質の理解、原因の追究など、仕事をする上での様々な課題を発見・分析するための知識・技能</li> <li>● 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、社会的移行への準備、生き方の多様性の理解・受容など、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」の意義を理解するための知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他者に働きける力、チームワーク、リーダーシップなど、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画する力</li> <li>● 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ主体的に行動する力</li> <li>● 多様な情報の処理、計画立案、実行力など、適切な計画を立てて課題を処理し、解決することができる力</li> <li>● 将来に関わる計画の立案や設計・実行・修正のなど、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要があれば自ら新たな社会を創造・構築していくことを含め、今後の社会を積極的に形成しようとする態度</li> <li>● 自己の動機づけ、主体性、忍耐力など、前向きに考え今後の成長のために進んで学ぼうとする態度</li> <li>● 計画・実行・評価・改善など、従来の考え方や方法にとらわれずに物事を前に進めていこうとする態度</li> <li>● 主体的に判断して生涯にわたってキャリアを自ら形成していこうとする態度</li> </ul>

学校内での学びと、その学びにリアリティーを持たせる実社会での体験活動（職場見学、職場体験、インターンシップなど）との往還を重視